

EU Indicators

欧州経済指標コメント：9月ユーロ圏、10月ドイツ失業率

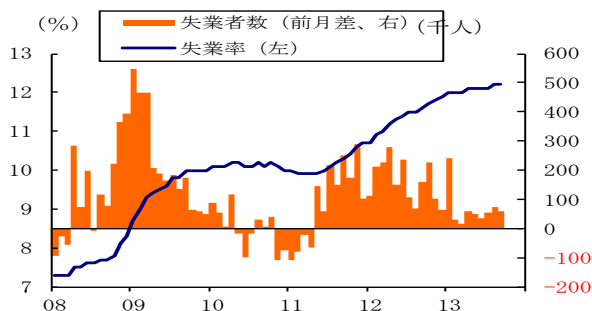
発表日：2013年11月1日(金)

～遡及改定にご注意を～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

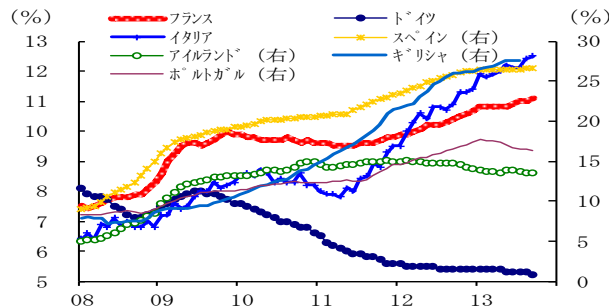
- 9月のユーロ圏の失業率（統一基準）は12.2%と前月から横這いで、ユーロ発足後の最悪水準にある。前月発表時点では4～6月の12.1%をピークに、7・8月は12.0%と上昇に歯止めが掛かっていたが、過去分が遡及改定されたことで、8・9月と上昇トレンドが続いている姿に変わっている。
- 前月対比で上昇した国は、ベルギー、フランス、イタリア、キプロス、ルクセンブルク。遡及改定で過去分の上昇が目立った国は、スペイン、スロベニア、フィンランド。なかでも、スペインは今年に入って失業者数が減少に転じ、失業率の上昇に歯止めが掛かっていたが、今回の遡及改訂により、過去3ヶ月は失業者数が再び増加し、失業率の上昇が続く形に変更されている。
- 失業率統計は発表毎に遡及改定が行われ、ピークの水準や月毎の細かい動きが頻繁に変わる。今回、失業率の上昇トレンドがまだ止まっていないことが確認されただけでは、次回11月7日のECB理事会での利下げの決め手とはならない。むしろ、同日発表されたユーロ圏の消費者物価でデフレーション基調が確認された点が注目される。ECBが11月の会合で現在「均衡している」とする物価のリスク判断を「下振れ方向」に変更すれば、次回以降の会合での利下げの現実味が増すことになろう。
- なお、10月30日に発表された10月のドイツの失業率は6.9%（統一基準と集計方法が異なる）と前月から横ばい。過去3ヶ月の失業者数は前月から増加し、雇用吸収余力にやや歯止めが掛かってきた。ただ、このところの失業者の増加には、統計の上で失業者にカウントされない政府の再就職支援プログラムへの参加者が減少していること（政府が支援規模を縮小中）が影響している可能性がある。

■ユーロ圏：失業率と失業者数



出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国の失業率



出所：Eurostat

■ユーロ圏の失業率（統一基準、季調値）

	2012		2013								
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
ユーロ圏・失業率	11.9	12.0	12.0	12.0	12.1	12.1	12.1	12.1	12.2	12.2	
失業者数（前月差、千人）	62	239	28	15	58	49	33	53	73	60	
就業者数（前月差、千人）	-878	433	205	110	-896	356	240	385	-783	432	
労働力人口（前月差、千人）	-816	672	233	125	-838	405	273	438	-710	492	
ドイツ・失業率	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	
フランス・失業率	10.7	10.8	10.8	10.8	10.8	10.8	10.9	11.0	11.0	11.1	
スペイン・失業率	26.2	26.4	26.5	26.5	26.5	26.4	26.4	26.5	26.6	26.6	

注：労働力人口と就業者数は公表数値を基に筆者が計算。季節調整や小数点桁数の関係で正確な数値ではない。

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。